



スタッフのつぶやき

お初にお目にかかります。3月に途中入社いたしました城本と申します。「3月に入社して挨拶が6月って？」と思われるかもしれませんが、試用期間がございまして、今月、無事に本採用いただきましたので、このタイミングでのご挨拶となりました。ご了承ください。

「試用」。・・・「しよう」という音の言葉って日本語には色々ありますよね。「仕様」「使用」「私用」などなど。音は一緒なのに意味がまるで違う。海外の方からすると日本語のこういうところがすごく難しいのだとか。漢字が違ってれば、違いも把握し易いとは思いますが、漢字が同じなのに意味が違う、なんてものもございます。

例えば「前」という言葉。ある海外の方が「前」という日本語の意味を「前=以前=過去」だと学びました。そんな彼がある日、車で友人と遊びに行くことに…。慣れない日本の道を、友人の案内で運転し、しばらくして慣れてきた頃、ふと友人が「前の信号を右ね」と何気なく彼に伝えました。すると彼は「前! ?なんで今言うの! ?」と混乱した様子で、慌ててUターンをしたそうです。「前」の意味を「前方」ではなく「以前」だと思っていた彼は、友人が通り過ぎた信号の話をしたと思ったのです。

…難しいですね。何の疑問もなく当たり前に使ってはいますが、改めて考えると日本語ってややこしいです。

つまり何が言いたいかというと、僕はこれまでIT関係とは無縁の販売職についており、聞き馴染みの無いIT用語が飛び交うここは、外国のように感じておりました。この業界では当たり前で、疑問に思ふ余地もないようなことすら新鮮で勉強の日々。3ヶ月が経ち、少しずつ耳に馴染んでは来ましたが、まだまだ知らないことだらけです。

未経験からの入社ではありますが、これからも前の仕事の経験を活かしつつ、しっかり前を向いて経験を積み、皆様のお役に立てるよう精進致します。趣味は音楽を聴くこととプロレス観戦の城本(31歳)でした。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

(営業部 城本 悠太)



IT雑情報

【日本語入力中に半角スペースを簡単に入力する】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

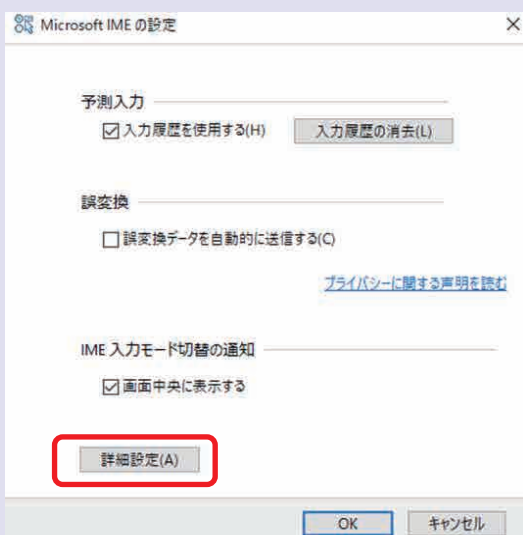
日本語入力中に「半角スペースを使いたい!」という時、皆さんはどうされていますか? 半角/全角変換キー押して、スペース打って、また半角/全角変換キー押して…という方が多い方だと思います。これ、めちゃくちゃ面倒くさいですよね。そんな方に意外と知られていない便利な方法をご紹介します! 操作は非常に簡単。

「Shift」キーを押しながら「Space」キーを押す。これで半角のスペースが挿入されます。(Macでも同じ)

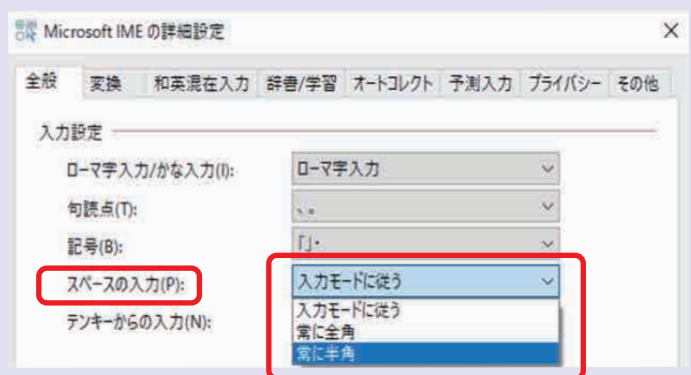
「半角空けたいだけなのに、3つも手順踏んでたのはなんやってん…」と思えるくらい簡単ですよ。

そしてもう一つ、「スペースを常に半角」にする設定もあります。こちらも簡単。

- ① 『タスクバーの「入力切替」を右クリック →「プロパティ」→「詳細設定』



- ② 『「スペースの入力」→常に半角』



これで完了!

この設定にした場合は『日本語入力中に、shift キー +space』をすると全角スペースが入力できます。普段、半角スペースのほうがよく使う! という方はこちらの設定の方が楽になるかもしれませんね。

この方法、知っておくだけで日常業務のちょっとしたストレスから開放されます。是非ご活用ください!

(シロ)

読者 訪問

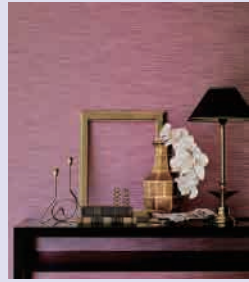


第149回

お伺いした会社 小嶋織物株式会社
お話を伺った方 代表取締役 小嶋 一様、品質管理室長 小嶋 秀規様
会社の所在地 〒619-0204 京都府木津川市山城町上狛北野田芝 1-3
連絡先など TEL 0774-86-2144 FAX 0774-86-5227
事業内容 内装インテリア織物の製造、販売
ホームページ <https://www.kojima-orimono.com/>

JR 木津線 上狛（かみこま）駅のそばにある小嶋織物（株）にお訪ねし、小嶋社長と小嶋室長からお話をお聞きしました。

織物会社という和装洋服を想像しがちですが、同社は織物のふすま紙や壁紙を製造販売なさっているインテリアメーカーです。昔ほどの家にもふすまがあり、定期的にくすま紙を貼り替えたりしていたのでふすま紙の需要が多く、発展してこられました。



HP 壁紙カタログから



リーフレットから

そして洋室の増加と共にふすま紙に替わって壁紙需要が多くなってきました。しかし近年では塩ビ製のクロス壁紙が増えてきて織物の壁紙はわずか0.2%程度になってしまっているそうです。サステイナブルな社会を目指すことが叫ばれている中、天然素材の植物繊維で作った織物壁紙が塩ビ製クロスに追いやられている現状は嘆かわしく悲しいと言っておられました。

国内ではそのような状況でも海外ではかなり事情が異なるそうです。特にアメリカでは環境意識の高まりと共に、今までのようなペンキの塗りっぱなしの壁ではなく、天然素材を使った壁紙の需要が急増しているそうです。住宅に対する意識改革が進んでいるようです。

同社は糸づくりから製織・製品まで一貫生産なさっており、分業の多い織物業界・インテリアメーカーの中では数少ない存在としてその強みを発揮しておられます。オリジナルなデザインのものを中心に応接室や高級ホテルなどの壁紙を提供し、織物の良さを発信しておられます。天然素材の壁紙は貼りにくく、繊維の壁紙が貼れる職人も少なくなっているそうですが、海外での需要の高まりだけではなく、日本人が日本の良さを見出すためにも、もっともっと京都の人に使ってもらいたいとおっしゃっていました。

近年の住宅事情では和室が少なくなっていますが、閉鎖性の高い洋室より開放性のある和室の良さを再確認していただき、更には化学素材の部屋より天然素材の部屋を求めていると聞きたい。そしてそのニーズに応えると共に、更なる日本文化の継承に寄与していきたいと言っておられました。

同社のシステムはもともと小嶋室長が Excel や Access で作ったものを使っておられたのですが、将来的な事を考えてシステム会社からのシステム導入を検討され、たまたま展示会で当社のシステムを目にしてくださいとお声掛けいただきました。

基本的には販売管理システムなのですが、数多くある製造工程の生産管理と連動したいということで、『ふんばり30』をベースにカスタマイズしてご提供いたしました。もともとが自社開発のオリジナルなシステムだっただけに要望が多岐にわたり大変でしたが、小嶋室長は『オリジナルなやり方に合わせてもらったのが有り難かった。自社なりにやってきたことを踏襲してもらえたのが嬉しい』とおっしゃっていました。

2020年度IT導入補助金の臨時公募で交付申請したところ採択され、ちょうどいいタイミングで補助金を受けることができました。

商品管理が見える化できたことで生産効率をアップさせてコストダウンを図り、素晴らしい素材をもっともっと多くの人々に供給していって下さることを期待して同社をあとにしました。（米田）



小嶋社長と小嶋室長



いっちょかみ “一丁啮” が行く！ 第160回：リュックサック

近年、若者のみならずビジネスマンもリュックサックを背負っている姿をよく見かけるようになりました。当社でもリュックを背負って出社してくる人が何人もいます。リュックが流行ってきたのは、両手が空くことによりスマホが操作しやすくなるからなのでしょう。でも、歩きスマホってアカンのですよね 🙄
カジュアルな格好でリュックを背負っていても違和感はないのですが、スーツにネクタイ姿でリュックを背負っているというのは、どこか違和感を感じるのには私だけでしょうか。

なんてことを思いながら、実は最近、どうもカバンが重く感じられるので、たまたま持っているカバンがリュック仕様にもなるのでリュックにして背負ってみると、なんと！その楽なことに気がきました 🙄
スーツ姿にリュックは似合わないと言っておきながら、その楽さ加減に負けてリュックスタイルで出勤しています。
やはり人間は楽な方を選ぶんですかねえ…… 🙄

（一丁啮）

編集後記 ゴールデンウィークは如何お過ごしでしたか？ 街に出てみるとホント人が多いのに驚きました。もはやコロナってどこ吹く風って感じです。感染者数もまた少し増えてきているようですが、重症化率が低いからなのか、以前のような危機意識が薄れてきているように思います。アフターコロナよりもこれからはウイズコロナをどうしていくかが問われてきそうですね。